

# 令和8年度（第65回）農林水産祭 「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」 （コメ輸出の道を農家3人で切り拓き、輸出を通じて地域の活性化に貢献）

農林水産祭は、優秀農林水産業者を選び、その業績を顕彰し、業績の内容について広く普及を図ることを大きな目的の一つとしています。

このため、農林水産祭事業の一環として、天皇杯等を受賞された優秀農林水産業者の業績に係るシンポジウムを実施しています。皆様のご参加をお待ちしています。（Web配信を予定。）

開催日時	令和8年6月10日（水）13時30分～16時00分 13時00受付開始		
場所	紙パルプ会館 2階 フェニックスホール 東京都中央区銀座3-9-11		
参加費	無料（オンライン参加の場合、通信料は参加者負担になります。）		
業績発表者	令和7年度多角化経営部門天皇杯受賞 株式会社芦別RICE 代表取締役会長	沼田哲男氏	
コーディネーター 及び選賞審査報告	農林水産祭中央審査委員会経営分科会主査 (農研機構・中日本農業研究センター経営支援研究部長)	宮武恭一氏	
コメンテーター	農林水産祭中央審査委員会経営分科会委員 (東北大学大学院農学研究科教授)	角田毅氏	
	アクセンチュア株式会社プリンシパルディレクター	小栗史也氏	
	有限会社山波農場 代表取締役社長	山波剛氏	
	北海道農政部食の安全・みどりの農業推進局 食品政策課農業付加価値向上担当課長	太田訓英氏	
主催	農林水産省、公益財団法人 日本農林漁業振興会		
協力	北海道		

【参加申込方法】（公財）日本農林漁業振興会ホームページから申込書式をダウンロードしてお申し込みください。定員（70名）になり次第、締め切らせていただきます。（お申し込みは、メール又はFAXで下記申込先あてにお願いします。また、メールで送付される場合は、件名を「6月10日（東京都内）シンポジウム参加申し込みについて」としてください。）  
申し込みの受付登録が済んだ方には、別途連絡致します。  
また、オンラインでの参加を希望される方は、別紙「オンライン参加のお申し込み」をご覧の上、お申し込みください。

【申込先】（公財）日本農林漁業振興会事業部あて  
E-mail n\_shinkoukai96s@affskk.jp  
FAX 03-6441-0792

【問い合わせ先】（公財）日本農林漁業振興会事業部 TEL：03-6441-0791

# 「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」

(コメ輸出の道を農家3人で切り拓き、輸出を通じて地域の活性化に貢献)

## 【 次 第 】

13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)

(敬称略)

- 1 開 会 (13 : 30)  
公益財団法人 日本農林漁業振興会 常務理事 小栗 邦夫
- 2 挨拶 農林水産省輸出促進審議官 三野 敏克
- 3 選賞審査報告 農林水産祭中央審査委員会経営分科会主査 宮武 恭一  
(農研機構・中日本農業研究センター経営支援研究部長)
- 4 業績発表 令和7年度多角化経営門天皇杯受賞 沼田 哲男  
株式会社芦別RICE 代表取締役会長
- 休 憩 (14 : 30 ~ 14 : 40)
- 5 パネルディスカッション  
・コーディネーター ( 3に同じ ) 宮武 恭一  
・業績発表者 ( 4に同じ ) 沼田 哲男  
・コメンテーター  
農林水産祭中央審査委員会経営分科会委員 角田 毅  
(東北大学大学院農学研究科教授)  
アクセンチュア株式会社プリンシパルディレクター 小栗 史也  
有限会社山波農場代表取締役社長 山波 剛  
北海道農政部食の安全・みどりの農業推進局  
食品政策課農業付加価値向上担当課長 太田 訓英
- 6 閉 会 (16 : 00)

令和8年度（第65回）農林水産祭  
優秀農林水産業者に係るシンポジウム

（コメ輸出の道を農家3人で切り拓き、輸出を通じて地域の活性化に貢献）

令和8年6月10日（水）都内 開催

参加申込書

（オンライン参加についての申込は別紙）

申込月日                      月                      日                      受付No.  
\_\_\_\_\_

（※本会記入欄）

下記のとおり、会場での参加を申し込みます。

受付確認のため、確実に連絡できる連絡先（E-mail・FAX・電話番号の何れか）を記入してください。

ふりがな(必須)	
氏名(必須)	
所属先(役職)	
E - M A I L	
F A X 番号	
電話番号	

上記の申込者を代表にして複数の方が申し込まれる場合は、代表者以外の方は、氏名等を下欄に記載してください。

役職等	氏名

(別紙)

## オンライン参加のお申込み

「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」(コメ輸出の道を農家3人で切り拓き、輸出を通じて地域の活性化に貢献)につきましては、会場での参加のほかオンラインでの配信を予定しております。

オンラインでの参加(配信)を希望される場合は、下記のとおりお申し込み下さい。

### 記

**方 法**：Zoom (ウェビナー) での配信を予定しております。

なお、ご発言やチャットによるご質問には返信できません。

**申込先**：下記のメールアドレスあてに必要な事項をご記入の上、メールを送信して下さい。

#### (電子メールの送信先)

E-mail： n\_shinkoukai96s@affskk.jp

(公財) 日本農林漁業振興会 事業部あて

※メールの件名を

「シンポジウム申込(6月10日芦別RICE)」として下さい。

#### (記入事項)

- ① 6月10日(水) 都内開催
- ② 所 属：(所属機関がない場合には、職業等を記載して下さい。)
- ③ 氏 名：
- ④ 連絡先電子メールアドレス：

**申込期限**：6月9日(火) 12:00

ただし、定員(400名)になり次第締め切ります。

**URLのお知らせ**：6月9日(火)までに電子メールによりURLをお知らせします。

令和8年度（第65回）農林水産祭  
「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」

【会場案内】

◆紙パルプ会館 2階 フェニックスホール

〒104-8139 東京都中央区銀座3-9-11

TEL: 03-3543-8118



◆ アクセス方法

東京メトロ 銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」

- 【A12 出口】より徒歩 1~2 分

東京メトロ 日比谷線「東銀座駅」

- 【A2 出口】より徒歩 1~2 分

都営線 浅草線「東銀座駅」

- 西馬込方面行きホーム 【A7 出口】
- 押上方面行きホーム 【A8 出口】より徒歩 1~2 分

令和7年度天皇杯受賞者受賞理由概要  
多角化経営部門

コメ輸出の道を農家3人で切り拓き、輸出を通じて地域の活性化に貢献

○氏名又は名称 株式会社 芦別 RICE (代表 沼田 哲男)

○所在地 北海道芦別市

○出品財 経営(水稻)

○受賞理由

・地域の概要

芦別市は、北海道のほぼ中央に位置する中山間地域であり、水稻を中心に、野菜、花き等との複合経営が主体である。炭鉱閉山以降、人口減少が急速に進んでいる。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

少子高齢化に伴い将来の国内需要が先細りとなる中、農協合併により「芦別米」の名が消えること、地域の農地と人口の減少が進むことに危機感を感じ、平成23年に地元の若手農家3人で農業生産法人を設立し、平成27年に米輸出の取組を開始した。香港を皮切りに、シンガポール、米国と輸出先を広げ、令和6年には24戸、228haの協力農家を含め1,287tのコメを輸出しており、生産者自身によるコメ輸出の取組としては、全国最大級となっている。

・受賞者の特色

(1) 輸出先拡大に向けた取り組み

若手農家3人が香港向けに始めたコメ輸出であるが、農機メーカーによる玄米輸出との連携により、大幅に輸出規模が拡大した。さらに、海外現地との直接取引のためにISO22000を取得、またFSSC22000も近々に認証予定であり、欧州での精米輸出を目指し精米施設整備を行ったところ。更にTPPに加盟した英国向け精米輸出も視野に入れており、新規の販路開拓と共に順調に輸出量を伸ばしている。

(2) スマート農業化により若者をつなぎとめる

ロボット田植機や無人トラクター等の最先端技術の導入により、大区画整備された水田で、代かきと田植え作業の時間を半減させるとともに、新しい技術に関心を持つ若者を積極的に雇用し人手不足を解消した。さらに冬季の仕事として道内の防除用ドローン200台の点検整備、防除スクールの運営を受託している。

(3) 女性の活躍

女性社員も積極的に企画会議に参加し、商品開発や広報・デザインなどを担っている。地元の道の駅の農産物販売店を事業承継した際は、地域の女性8名を雇用。

・普及性と今後の発展方向

令和6年に立ち上げた「芦別 RICE 北海道米輸出拡大推進協議会」では、農機メーカーなどの協力を得つつ、輸出の取組を広げ、令和7年には、北海道全域で農家36戸/2団体/3業者が参画するまでになっている。また、第3者継承を視野に、若手社員を後継者のいない農家や農業法人に派遣するなど、芦別の農業を次世代にバトタッチする橋渡し役を担おうとしている。